

～松山の思い 届けたい～

ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

10月号 Vol.26



モニュメントの上で歌詞を朗読する作家の新井満さん

—今月の表紙— 「この街で」の歌詞が巨大モニュメントに!!

松山市の愛唱歌「この街で」のモニュメントが総合コミュニティセンターの市民プラザに設置され、9日8日、この歌に関わる関係者が出席し、盛大な除幕式が行われました。

9月 県内の動き

- ・東温市の「坊っちゃん劇場」で来年4月から上演されるミュージカル「誓いのコイン～ロシア兵をもてなした松山」の制作会見が行われる(9日)
- ・愛媛経済同友会が上島町産レモンを使ったリキュールなど、県産食材を活用した産学官共同開発の新商品3点を発表(21日)

松山ニュース

- ・民事再生手続き中の防予汽船が、三津浜港―柳井港のフェリー事業を、瀬戸内海汽船が設立した新会社に譲渡すると発表(1日)
- ・清酒メーカーの「石鎚酒造」が松山市の芸者を支援する「NPO 法人 松実会」とタイアップし、純米大吟醸「松山の芸者さんが進めるお酒」を発売(9日)
- ・道後温泉本館敷地内にある名物「しだれ柳」が風雨で折れ、安全のため伐採(23日)
- ・松山北高校の1年生が今年7月に倒壊した「愚陀仏庵」の再建に貢献しようと、記念文化祭に合わせ、巨大壁画(縦6尺、横8尺)を制作(26日)
- ・中村時広松山市長が、11月末に想定される次期知事選へ無所属で出馬することを表明(29日)

～まつやま情熱大陸～

「松山の新たな文化を発信!! 大神輿総練にかけた担当者の熱き想い」

(財)松山観光コンベンション協会 池田 和広 事務局長 インタビュー

～まつやま情熱大陸～

「松山の新たな文化を発信!!

大神輿総練にかけた担当者の熱き想い」

ありとあらゆる分野の第一線で活躍する松山人にスポットを当て、その人の素顔に迫る「まつやま情熱大陸」。今回のゲストは今年の10月3日、松山城山公園に松山の神輿を一堂に集め、松山で初の大神輿総練を実施した(財)松山観光コンベンション協会の池田和広事務局長です。

池田 松山には、大名武者行列を中心とした「松山春まつり」、野球拳おどりを中心とした「松山まつり」など市民参加型のイベントが実施されています。ご存知のように、秋には、「松山地方祭」が行われますが、これを調べてみると、「けんか神輿」をはじめ、各地区それぞれに個性と特色があり、文化レベルとしては非常に高いものがあります。しかし、各地区ほぼ同時に実施されているので、全国的にも知られていくようで、あまり知られていないのが現状です。これらの神輿文化を観光資源としてなんとか全国に発信できないかということ、は前々から検討事項ではありましたが、今年には特に関係する皆さんからの熱い要望があり、私どもと一緒にできる空気ができたものですから開催に至ったわけです。

「なぜ、松山の神輿を集めて「大神輿総練」を実施しようと考えたのですか。」



池田 和広さん(財)松山観光コンベンション協会事務局長
Kazuhiro Ikeda

事業の成功を西岡実行委員長(左)と固い握手で確認する池田さん(右)

「初めての取り組みでいろいろ大変だったのではないですか。」

池田 まずは当事業を実施するに当たって、市内の全団体に声を掛けようというところからのスタートでした。しかし市内には数多くの神輿団体があり、見落としが無いように調査をしました。この作業にもっとも時間を掛けたように思います。それから、説明会を行い、準備会、実行委員会の発足と限られた時間の中で着々と進行していく訳ですが、その中でも、それぞれの団体で神輿の担ぎ方、掛け声などに違いがあり、集まっても、うまくマッチングするのという心配もありました。その部分は参加いただいた各団体間でしっかりと連携・調整していただいたおかげで、いきなり本番という事ではありましたが、予想以上にうまくいったと思っています。

「総練を振り返って」

池田 今回のイベントには女みこし7団体、八町会、六町会、古町会、味生睦会、伊台、垣生、西長戸など総勢30のみこし団体に参加いただきました。当日



「鉢合わせ」のパフォーマンスも行われた

は時折雨が降る天候だったにもかかわらず、公園には約4万人のお客様にお越しいただき、会場は熱気で大歓声に包まれていました。一番の喜びは、会場が自然と一体となって、参加した神輿守の方、そして観覧された方に本当に喜んでいただけましたこと。松山では初めての試みで、いろいろと心配はありましたが、私どもとしても松山の伝統文化を再認識する場として寄与出来たと感じています。

「今後の取り組みとして」

池田 総練を継続することに関しては、参加した神輿団体がまずは自分たちのこととして今後どうしたいかということが大切で、私どもで決められる事ではありませんが、要望があれば当協会としても積極的に協力していきたいと考えています。今回実施した「大神輿総練」が松山の新たな観光の切り札となる可能性を確認することができましたので、できれば継続していただき、共に、神輿文化を通して、たくさんの方にお越しいただける「元気な松山」を目指していきたいと考えています。



最後の総練では全団体が「かき比べ」を行った

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@citymatsuyamaehin.e.jp